

# 【家庭数】令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 算 数 】
<p><b>全体的な状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選択式の問題に関しては力を発揮できていることが多い。</li> <li>「書くこと」に関する問題の正答率は府の平均を超えている。</li> </ul> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より校内で取り組んでいる国語科を中心とした授業研究の成果が徐々に出ています。</li> </ul>	<p><b>全体的な状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての領域において力が発揮できている。</li> <li>特に「図形」領域の正答率が全国平均を大きく超えている。</li> <li>記述式の問題の正答率も全国平均を超えている。</li> </ul> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導によるきめ細やかな授業の成果が表れた。</li> <li>応用問題を授業の中に取り入れたので、必要な情報を読み取る力がついてきている。</li> </ul>
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や文法的な知識の定着に課題が見られる。</li> <li>資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。</li> </ul> <p><b>課題解決に向けた取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や言葉など既習事項を日常的に使う機会を設定し知識・技能の定着を図る。</li> <li>自分の考えが伝わるように工夫して書いたり説明したりする機会を設定する。</li> <li>読む力を育み、知識や感性を豊かにする「読書」を推進する。</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記述式の無回答率がやや高い。</li> </ul> <p><b>課題解決に向けた取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフなど複数の情報を読み取り、的確にまとめる学習を積み重ねていく。</li> <li>学習の振り返りを自分の言葉で書くなど、日常的に書く機会を設けることで書く力を育成する。</li> </ul>

## 【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国		本校	府	全国	
自分にはよいところがある	84.7	74.3	76.9	※数値は%	課題を残した主な項目			
人が困っているときは、進んで助けている	96.1	87.6	88.7		自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表す	58	68.4	70.3
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	88.5	64.4	73		月曜日～金曜日の1日あたりの勉強時間(学校以外)が30分より少ないか全くしない	23.1	21.2	13
					携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	57.7	69.3	70.1

**全体的な状況**

- 自己肯定感が高く、他者との関わりに関しても良好な数値が出ている。
- 学習意欲は高く、特に算数に関しては、興味関心を持って取り組むことができている。

**成果**

- 授業の中で話し合い活動を取り入れることで、友達の考えや思いを知ろうという気持ちを持つことができている。また、友達を思いやる心も育てている。
- タブレットなどのICT機器を活用することで、学ぶ意欲の向上を促すことができている。

**課題**

- 自己表現が苦手で、考えや思いを発表することがなかなかできない児童がいる。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、明確な約束ができていない。

**課題解決に向けた取組み**

- ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れる。人前で話す経験を増やし、自己表現力を育てていく。
- スマートフォンやタブレット等の使い方について学年の成長段階に応じた啓発を行う。

## ○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・今回の調査において、本校では、「自分には、よいところがあると思う」児童や「人が困っているときには、進んで助けている」児童がたいへん多いという結果が出ており、自己肯定感や他者を思いやる心などの道徳心が育まれていると考えられます。

・さらには、「国語や算数の勉強を大切に思っている」児童や「解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」児童の割合が大きいなど、学びに対する前向きな気持ちやねばり強く取り組む態度が育っていることがわかります。

・これらのことは、学校の教育活動だけの成果ではなく、ご家庭でも励ましのお声かけや対話を大切にいただくといいねに関わっていただいていることが、子どもたちの健やかな育ちにつながっているものと考えています。

・一方で、「平日に携帯・スマートフォン・コンピュータを使ったゲームにかける時間」が「2時間以上」であると回答した児童が、本校においては約60%に達しており、全国平均より10ポイント以上も高くなっています。本調査では、ゲーム時間が長いほど、学力状況調査の平均正答率が低くなる傾向がみられるという相関関係もありました。

・スマートフォンやタブレット等の使い方については、学校でも学年の成長段階に応じた指導を行ってまいりますので、ご家庭でもお子さまの状況に合わせて話し合ってください、無理のない具体的なルールづくりや確認のお声かけをお願いいたします。

・学校といたしましては、学力の向上には、子どもたちの学ぶ意欲を高めることが大切であると考えております。学校では、ICT機器の活用も図りながら、子どもたちが学ぶ喜びを実感できる「わかる・楽しい」授業づくりに引き続き努力してまいります。

・ご家庭におかれましても、日々のお子さまの学校でのようすを語り合ってください、明日への意欲につながる温かい言葉かけを引き続きよろしくお願いいたします。